

氏名

点数 点/100点

各論演習 5-1

問1)

次の資料にもとづいて、①No.101、No.102に配賦される製造間接費を計算し、②製造間接費を配賦する際の仕訳を示しなさい。

(資料) ヘリンジャー工業(株)のホープ工場は、製造間接費の各月実際発生額を、各月の実際機械運転時間を基準に配賦している。
当月の製造間接費勘定に集計された製造間接費は11,000円、機械運転時間は22時間 (No.101に15時間、No.102に7時間) である。

解1)

① No.101、No.102に配賦される製造間接費

No.101		円
No.102		円

② 製造間接費を配賦する際の仕訳

(単位：円)

借方		貸方	
	11,000		

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 5-2

問1)

ルーカス工場では、機械運転時間を基準に製造間接費を予定配賦している。次の資料にもとづいて、基準操業度を①実際の生産能力とした場合、②期待実際操業度とした場合の年初までに決定しておく予定配賦率、当月予定配賦額を求めなさい。

(予算資料)

- (1) 当工場の実際の生産能力は2,500機械運転時間/年、期待実際操業度は2,200機械運転時間/年である。
- (2) 当工場の製造間接費予算(年間)は各操業水準に対して次のとおりである。

機械運転時間	製造間接費
2,200時間	1,584,000円
2,500時間	1,700,000円

(当月資料)

今月の当工場の実際機械運転時間は192時間であった。

解1)

- ① 実際の生産能力の場合
- | | | |
|-------|--|------|
| 予定配賦率 | | 円/時間 |
| 予定配賦額 | | 円 |
- ② 期待実際操業度の場合
- | | | |
|-------|--|------|
| 予定配賦率 | | 円/時間 |
| 予定配賦額 | | 円 |

氏名

点数 点/100点

各論演習 5-3

問1)

パレット工場の時系列で記した下記について、それぞれ答えなさい。

- ① 予算作成（予定配賦率の算定）
向こう1年間の予定機械運転時間が18,000時間、予定製造間接費が9,000,000円と見積った。
そこで、機械運転時間を製造間接費の配賦基準として予定配賦率を計算しなさい。
- ② 当月の予定配賦額の計算
製造間接費を機械運転時間を基準に配賦する。当月の機械運転時間は1,375時間（# 101に対して750時間、# 201に対して625時間）であった。
そこで、# 101、# 201への予定配賦額と、仕訳を示しなさい。
- ③ 当月の実際発生額の集計
当月の実際発生額を集計すると、間接材料費123,000円、間接労務費450,000円、間接経費120,300円であった。
そこで、実際発生額を製造間接費へ振り替える仕訳を示しなさい。
- ④ 当月の製造間接費配賦差異の把握
当月の予定配賦額と実際発生額の差額を製造間接費配賦差異勘定へ振り替える仕訳を示しなさい。
- ⑤ 会計期末の配賦差異の会計処理
会計期末となった。上記④の月以外の各月において、製造間接費の配賦差異は生じなかった。当期の製造間接費配賦差異を売上原価勘定に振り替える仕訳を示しなさい。

解1)

① 予定配賦率 円/時間

② # 101への予定配賦額 円

201への予定配賦額 円

借方	貸方

③

借方	貸方

④

借方	貸方

⑤

借方	貸方

氏名

点数 点/100点

各論演習 5-4

問1)

ヒルダ工場は、製造間接費予算の設定に固定予算を採用している。
 そこで、次の資料にもとづき、当月の製造間接費配賦差異を計算し、さらに予算差異と操業度差異に分析しなさい。

(資料)

- ① あらかじめ年度の最初に、年間基準操業度が18,000機械運転時間、年間予定製造間接費が9,000,000円と見積っている。
- ② 当月の実際機械運転時間は1,375時間
- ③ 当月の製造間接費実際発生額は693,300円であった。

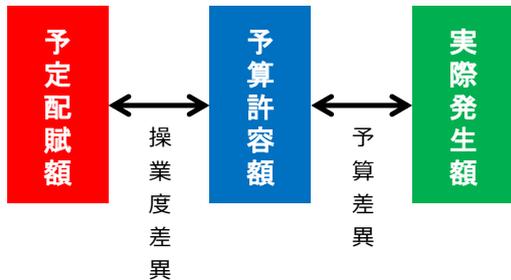
問2)

トリロー工場は、製造間接費予算の設定に公式法変動予算を採用している。
 そこで、次の資料にもとづき、当月の製造間接費配賦差異を計算し、さらに予算差異と操業度差異に分析しなさい。

(資料)

- ① あらかじめ年度の最初に、年間基準操業度が18,000機械運転時間、年間予定製造間接費が9,000,000円（変動費が5,040,000円、固定費が3,960,000円）と見積っている。
- ② 当月の実際機械運転時間は1,375時間
- ③ 当月の製造間接費実際発生額は693,300円であった。

(参考)



解1)

製造間接費配賦差異	円	借方差異	貸方差異
予算差異	円	借方差異	貸方差異
操業度差異	円	借方差異	貸方差異

いずれか該当する方に○を付しなさい。

解2)

製造間接費配賦差異	円	借方差異	貸方差異
予算差異	円	借方差異	貸方差異
操業度差異	円	借方差異	貸方差異

いずれか該当する方に○を付しなさい。